

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

団体名	特定非営利活動法人山崎・谷戸の会
活動タイトル	谷戸塾 こども里山体験 資源循環班
活動地域	鎌倉中央公園



谷戸塾 田植え 6月17日

【活動の目的・目標】

- ・谷戸塾 会員のスキルアップにて活動の安定した継続を図る。
- ・こども里山体験「里山探検隊」会員対象にて保全活動を通じた里山体験を楽しむ。
「こども里山一日体験」非会員の親子連れも対象とし、広く里山保全の大切さを伝える。
- ・資源循環班 刈草、残債の堆肥化を円滑に進める。田畑の土壌改善に役立て里山の資源循環を図る。



谷戸塾 湿地復元 7月23日

【今回の活動で苦勞した/工夫したこと】

- ・谷戸塾 田んぼ：新会員が田を荒らさないように指導員が熟練会員と協力して指導した。湿地復元：全身泥になる重労働だが、指導員が安全を管理して実施した。
- ・資源循環班 草が例年以上に生い茂り作業が増えた中、堆肥場整備による園内整備に努めた。
- ・こども里山体験 多様な年齢の家族の参加が増え交流を図れるように努めた。いずれの活動も7月～9月の猛暑で作業が滞る中、熱中症対策も心掛けた。



こども里山体験 里山探検隊 7月9日

【活動の内容・成果】

○「谷戸塾」24回参加人数延べ250人 会員対象：田んぼ作業9回、畑作業7回、雑木林管理作業4回を行った。手作業による田畑の耕作と雑木林手入れ作業を行った。講座は5月3日「谷戸の茶摘み」6月25日「不耕起農」7月23日「湿地復元」を行い変化する里山の手入れを考察した。○「こども里山体験」：里山探検隊4回参加人数延べ167人 会員対象6月18日「春の仕事」7月9日「夏のしごと」田畑の作業を行った。：こども一日里山体験1回 参加人数10名 非会員・会員対象 さといもの植え付けのあと、生き物観察をした。○「資源循環班」12回参加人数延べ34人 会員対象：作業に連携して刈草の運搬、整備を行い、堆肥場の修繕手入れをした。達成率など：予定通りの参加率だった。新規の参加者に継続会員が作業の手順を誘導するなど会員同士の交流が増えた。

【団体概要】鎌倉中央公園において、山崎の谷戸の生態系と、昔ながらの景観を守ろうと7つの班に分かれて活動をしています。手作業の田んぼ、畑の作業を中心に雑木林管理作業から藁細工まで、里山文化に親しむ活動をしています。赤ちゃん連れ家族から多世代の方が参加できます。小・中学校、フリースクール、学童保育、子育て支援団体などの団体活動も受け入れをしています。

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

こちらに、1ページ目の以外の活動写真を添付し、右側に説明をご記入下さい。



谷戸塾 畑「さつまいもの苗植え」前日準備
さつまいも苗植え予定の畑を耕し、新会員が苗植え体験をしやすいように整えた。草刈りをし、畑の荒お越しをし、アズマネザサを深く掘り起こし除去した。さつまいもの苗床を点検し、苗本数が足りるか確認し、他の予定地との調整を行った。（5月28日）



谷戸塾 講座「湿地復元」補助作業
湿地復元が終わらなかった部分は後日、補助作業として行った。資源循環班と連携して、刈草の整備も行った。今年は草の生育に作業が追いつかず予定通りにはいかなかった。作業の優先順位を活動連絡会にて調整が必要だった。（7月2日）



子ども里山一日体験「さといもの植え付け」
雨の中、レインコートを着て行った。畑が生態系に与える影響を伝え、保護者にもこうした身近な自然を守る活動が子どもたちのために大切であることを伝えた。土に触れて子どもたちは楽しんでいった。天気ははっきりせず、雨天予報でキャンセルがあった。雨天時対応が今後の課題である。（5月14日）



谷戸塾 講座「不耕起農」
不耕起での畑の耕作を試みた。昨年度より土づくりから始めているが、今年の計画と生態系への影響を解説して行った。たのくろ豆を試行的に植え付けた。田や畑での土づくりにどのように結びつけるか、また、より多くの会員参加の声掛けの工夫が課題である。（6月25日）